

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
さきたま杯	2019/5/29	JpnII	浦和	1400m	ハイペース	良	コース適性

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	キタサンミカツキ	牡9	57	森	キングヘイロー	ノーザン系	サクラバクシンオー	ナスルーラ系	A	A	A	A	A	B	◎	
2	2	モーニン	牡7	58	藤井	Henny Hughes	ノーザン系	Distorted Humor	ミスプロ系	A	B	B	C	B	B	△2	
3	3	サクセスエナジー	牡5	57	池添	キンシャサノキセキ	サンデー系	ジャングルポケット	ナスルーラ系	A	B	B	B	B	B	○	
4	4	ブルドッグボス	牡7	56	左海	ダイワメジャー	サンデー系	デインヒル	ノーザン系	B	B	B	C	B	C		
5	5	サンライズノヴァ	牡5	56	戸崎	ゴールドアリュール	サンデー系	サンダーガルチ	ミスプロ系	A	B	C	B	B	B	▲	
	6	コスモマイギフト	牡10	56	大原	アツミラーレ	サンデー系	スピニングワールド	ミスプロ系	D	D	D	D	D	D		
6	7	ミヤジマッキー	牡9	56	国分	スパイクユール	サンデー系	マルゼンスキー	ノーザン系	D	D	D	D	D	D		
	8	アンサンブルライフ	牡6	56	繁田	アジュディケーティング	ノーザン系	Dancing Brave	ノーザン系	C	B	B	B	B	B	△3	
7	9	ウインムート	牡6	56	和田	ローズインメイ	ヘイロー系	マイネルラヴ	ミスプロ系	A	B	B	B	B	B	△1	
	10	コウエイエンブレム	牡6	56	石崎駿	シニスターミニスター	ナスルーラ系	Forty Niner	ミスプロ系	D	C	C	B	C	C		
8	11	コスタアレグレ	牡9	56	倉兼	シニスターミニスター	ナスルーラ系	Miswaki	ミスプロ系	D	B	D	B	C	C		
	12	レヴァンタール	セ10	56	東川	ファルブラヴ	ノーザン系	Conquistad Cielo	ミスプロ系	D	B	D	D	D	D		

隊列図	見解	ラップタイム
サクセ ウイン キタサ コスタ モーニ コウエ ブルド サンラ アンサ ミヤジ コスモ レヴァ ハイペース	<p>さきたま杯は地方ダートグレードの中でも地方馬の台頭が目立つレース。近年はJRA→南関東の移籍が活発になり、JRA/地方と明確に線引きすることによりあまり意味はなくなっているが、トキノエクセレント、アンサンブルライフでも好走できてしまうのがこのさきたま杯の特徴を表しているといえる。さきたま杯の舞台は癖の強い浦和1400m。能力差よりもコース適性の差が結果を左右することが多く、地の利のアドバンテージはファンが思っている以上に大きいだろう。今年はキタサンミカツキvs JRA勢という図式だが、果たしてどんな結末になるのだろうか。それでは予想にいきましょう。</p> <p>本命はキタサンミカツキに好走の条件がそろった。昨年は1枠1番から後方追走し、4コーナーでマクリ気味に進出して2着に好走。今年も昨年に続いて1枠1番を引き、すぐ外にサクセスエナジーがいるという枠順の並び（サクセスエナジーは昨年在2枠2番で、今年在3枠3番）。能力上位のサクセスエナジーの真後ろをピツタリと通っていけば、あとは直線でそのサクセスエナジーを交わすだけになりそうで、レース運びのしやすさを考えても、ここは確実に上位争いに加わってくるだろう。（以下省略）</p>	回顧 次走狙い馬

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	キタサンミカツキ	◎	能力上位のサクセスエナジーの後ろをピツタリと通っていけば、あとは直線でサクセスエナジーを交わすだけになりそうで、レース運びのしやすさを考えても、ここは確実に上位争いに加わってくる。		
2	2	モーニン	△2	とにかく揉まれ弱いなので、向上面から外に持ち出せるかがすべて。その意味で2枠2番を引いてしまったのは痛い。このメンバーなら隊列がバラける可能性が高く、どこかで外に持ち出すチャンスは巡ってくるかもしれない。17年さきたま杯で2着に好走しており、コース適性自体は問題ない。		
3	3	サクセスエナジー	○	昨年のさきたま杯では内で揉まれた上、4コーナーでキタサンミカツキに交わされる苦しい展開だったが、直線に入るとそのキタサンミカツキを差し返して優勝。振り返れば、コーナー4回のダート1400mでは【3.1.0.0】と連対率100%を維持しており、この条件が最も合っているのだろう。		
4	4	ブルドッグボス		ダートグレード勝ちのある実績馬も、18年5月かきつばた記念以来の実戦。このメンバーでは万全の状態でも好走できるか怪しく、様子見が妥当なのは。		
5	5	サンライズノヴァ	▲	一連の実績からこのメンバーに入れば能力上位は明らか。キタサンミカツキやサクセスエナジーよりも1キロ軽い斤量56キロで出走できるのは大きなアドバンテージだろう。それでも近走でややズブさを見せていること、出遅れ癖あり、エンジンのかかりが遅いなど、浦和1400mに対応するハードルは高い。		
	6	コスモマイギフト		地元・笠松のA2でも全く通用しない馬。ダートグレードではレースに参加することさえ出来ないだろう。		
6	7	ミヤジマッキー		南関東のオープン特別でニケタ着順続き。ここは参加するだけだろう。		
	8	アンサンブルライフ	△3	さきたま杯は3年連続の出走で、過去2回が17年4着、18年3着と健闘。昨年のオーバルスプリントでも4着に入っており、浦和1400mならダートグレードでもJRA勢と差のない走りを見せている。溜めるだけ溜めて終い勝負に徹すれば、流れひとつでチャンスは出てくるだろう。		
7	9	ウインムート	△1	昨年の同舞台で行われたオーバルスプリントで1番人気8着と人気を大きく裏切っているのが気になる。昨年の兵庫ゴールドトロフィーではサクセスエナジーを差し切っており、能力的にヒケを取ることはないが、ムラ駆け傾向が強く、サクセスエナジーほど信頼を置けない。		
	10	コウエイエンブレム		転入初戦のかしわ記念はさすがに相手が悪過ぎた感はあるものの、勝ち馬ゴールドドリームから6.1秒も離されての11着。使われた効果があるとはいえ、ガラリイ変を望むのは酷では。		
8	11	コスタアレグレ		昨年末の船橋で行われた総の国オープンでは4着。当時、ベンテンコソウ、キングガンズラングと強敵相手に健闘したものの、さすがにダートグレードで上位争いに加わるのは難しいのでは。		
	12	レヴァンタール		地元・笠松のB4でも通用していない馬。ここは参加するだけだろう。		